

おさかがわ
二級河川 小坂川
アンケート調査結果の概要

令和4年3月18日
静岡県

住民アンケートの結果

- アンケート調査は、「小坂川の川づくりに関するアンケート調査」として、小坂川が流れる長田南地区の住民を対象として実施した。
- 小坂川の印象は、「自然豊か」、「親しみやすい」といった好意的な意見が見られる一方、「水量が少ない」、「水が汚い」といった意見もみられる。
- 年代別にみると、「50代」以外では、「自然豊か」との回答が最も多かったが、「50代」では「水が少ない」との意見が最も多かった。

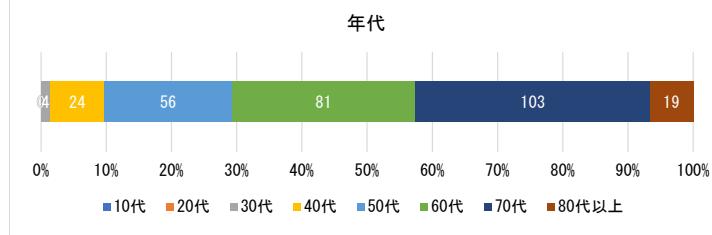
アンケート実施概要

<実施方法>

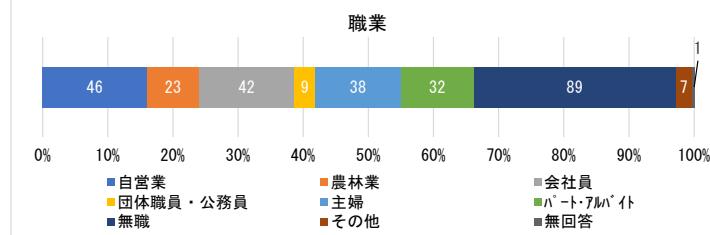
配布数(件)	387
回収数(件)	287
回収率	74.2%
対象地域	長田南地区の町内会
配布方法	自治会を通じて配布
実施時期	令和2年1月17日～2月15日

<回答者内訳>

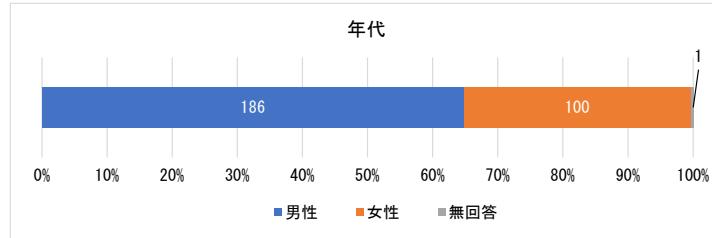
【年齢構成】



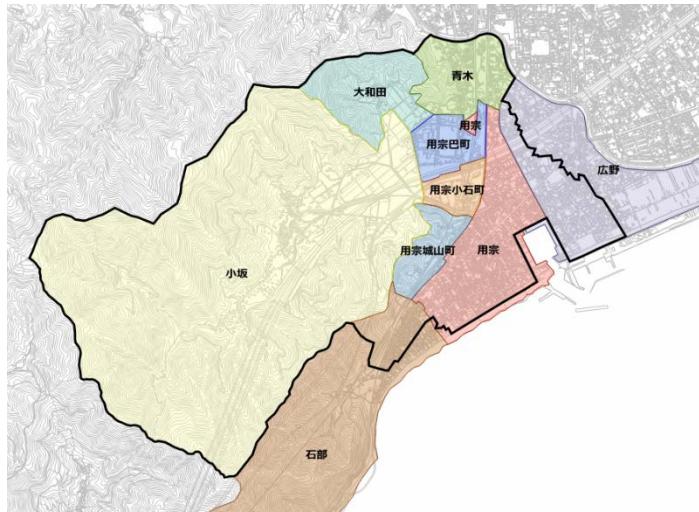
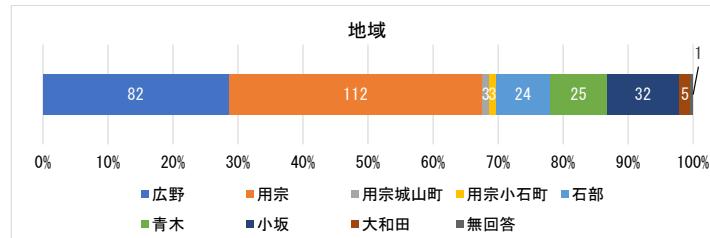
【職業】



【男女区分】



【地域】



町名	広野	用宗	用宗城山町	用宗小石町	用宗巴町	石部	青木	小坂	大和田	無回答	計
配布数	127	160				30	45	22	3	-	387
回答数	82	112	3	3	0	24	25	32	5	1	287

アンケート配布地区と配布数（小坂川）

※配布数は各町の広報配布組数を基に設定

小坂川の川づくりに関するアンケート調査のお願い
～みなさまのご意見をお聴かせください！～

静岡県土木事務所では、駿河区小坂から用宗を流れる用宗川に注ぐ、二級河川小坂川の今後の川づくりを考えるために、この地域にお住いの皆様を対象に、アンケート調査を行うこととしました。

このアンケート調査で頂いたご意見を、今後の小坂川の河川計画の参考資料としていきたいと考えておりますので、お忙しいところ申し訳ありませんが、ご協力をお願いいたします。

【ご回答にあたっての注意事項】

- ご回答は、同封の調査票に直接ご記入ください。
- 本調査は無記名ですので、お名前のご記入は必要ありません。
- 皆様からのご回答は、統計的に処理を行い、本調査の目的以外に使用することはありません。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにご返封に投函してください。
- ご回答期限は、令和2年2月15日（土）までに投函をお願いいたします。
- このアンケート調査に関して、ご質問等がございましたら、下記へお問合せください。

担当：静岡県静岡土木事務所 企画検査課 百瀬
電話：054-286-9322 FAX：054-286-9375
メール：shizudo-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp

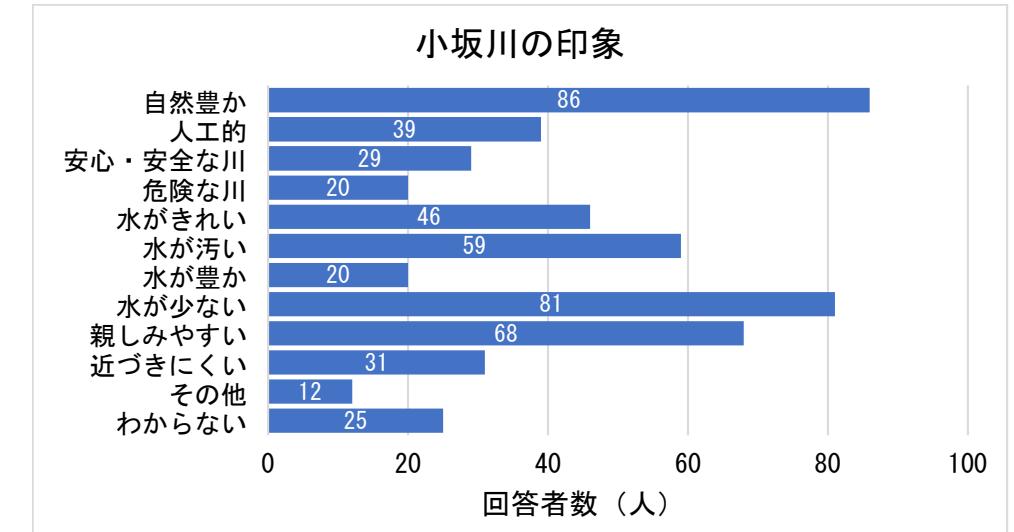
アンケート用紙

アンケート結果①

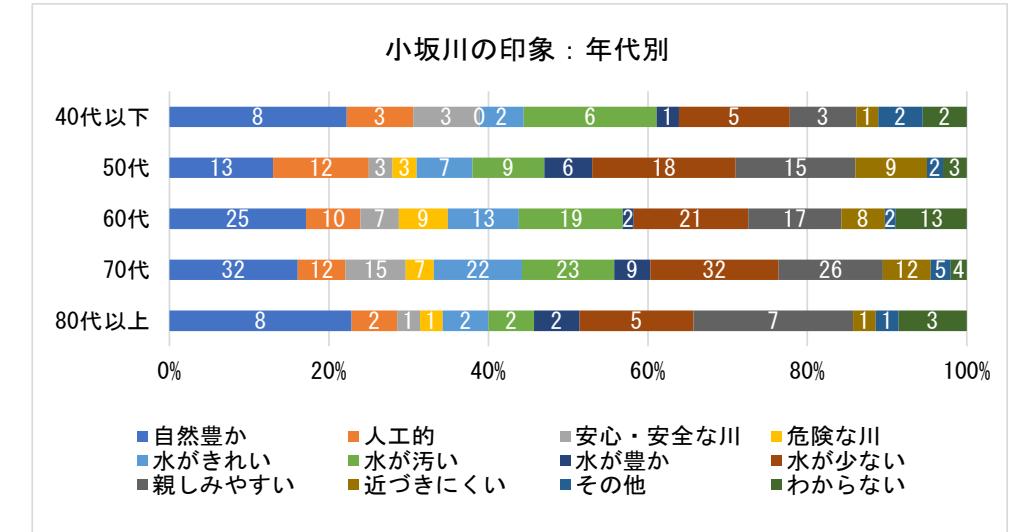
河川の印象に関する設問

◆問-1. 小坂川に対し、どういった印象をお持ちですか？

【全体】



【年代別】



	自然豊か	人工的	安心・安全な川	危険な川	水がきれい	水が汚い	水が豊か	水が少ない	親しみやすい	近づきにくい	その他	わからない
40代以下	8人	3人	3人	0人	2人	6人	1人	5人	3人	1人	2人	2人
50代	13人	12人	3人	3人	7人	9人	6人	18人	15人	9人	2人	3人
60代	25人	10人	7人	9人	13人	19人	2人	21人	17人	8人	2人	13人
70代	32人	12人	15人	7人	22人	23人	9人	32人	26人	12人	5人	4人
80代以上	8人	2人	1人	1人	2人	2人	2人	5人	7人	1人	1人	3人
計	86人	39人	29人	20人	46人	59人	20人	81人	68人	31人	12人	25人

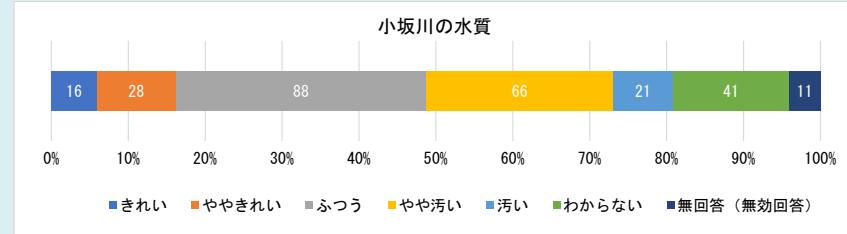
住民アンケートの結果

- 水質に関して、好意的な印象を持つ住民は2割弱にとどまった。
- 川の利用に関しては、小坂川の水辺への近づきやすさについて、「近づきにくい」と感じている住民が多い。また、小坂川を訪れる目的として、「散歩・ウォーキング・ジョギング」を挙げている住民が多い。
- 川の安全性については、河川の浸水被害を経験している住民は少ないが、大雨時にあふれそうになり危険を感じているといった回答は多い。
- 河川の愛護活動については、約2割の住民が河川愛護活動等に参加したことがあると回答している。

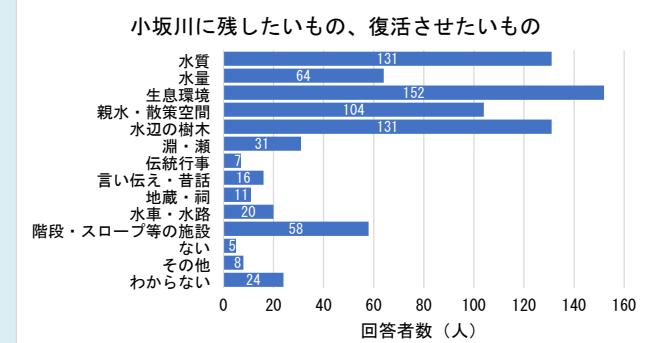
アンケート結果②

環境に関する設問

◆問-2. 現在の水質についてどう思いますか？

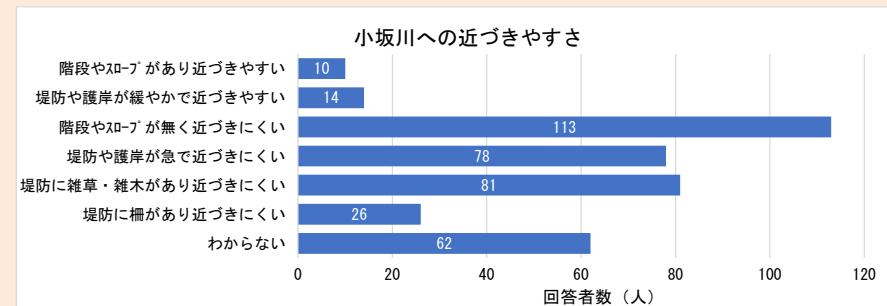


◆問-3. 小坂川、またはその周辺で、残したいもの、復活させたいものはありますか？

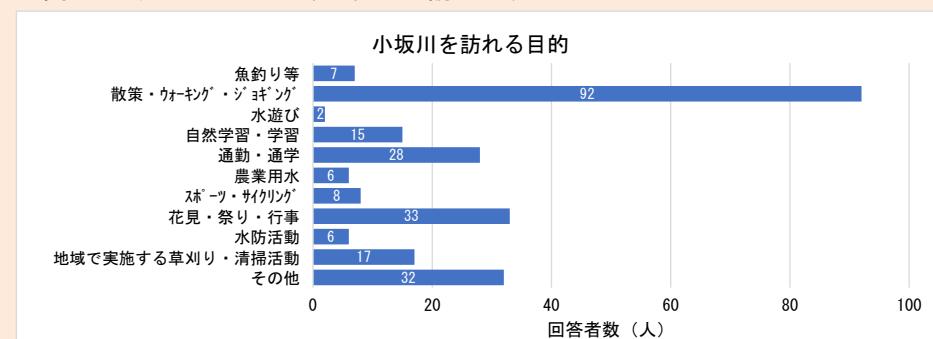


川の利用に関する設問

◆問-4. 小坂川の水辺への近づきやすさは、どうですか？

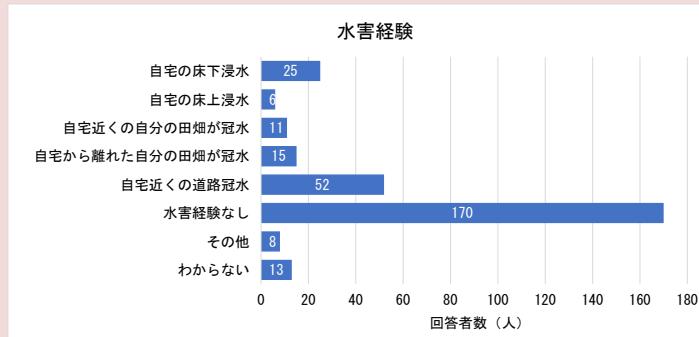


◆問-5. 小坂川にはどのような目的で訪れますか？

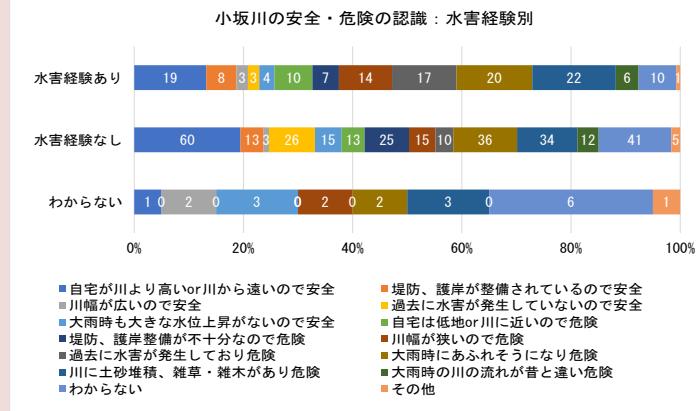


安全性に関する設問

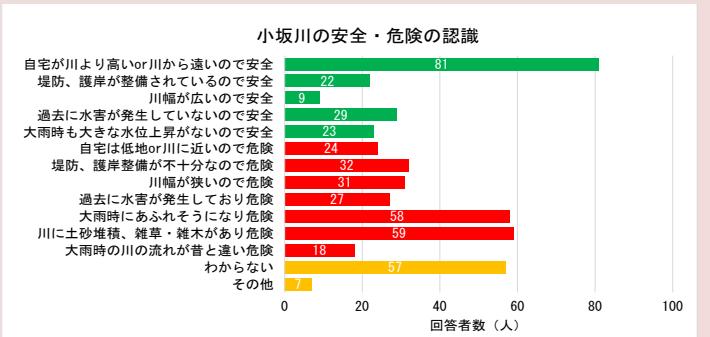
◆問-6. 現在のお住まいで、これまでに水害の被害にあわれた経験がありますか？



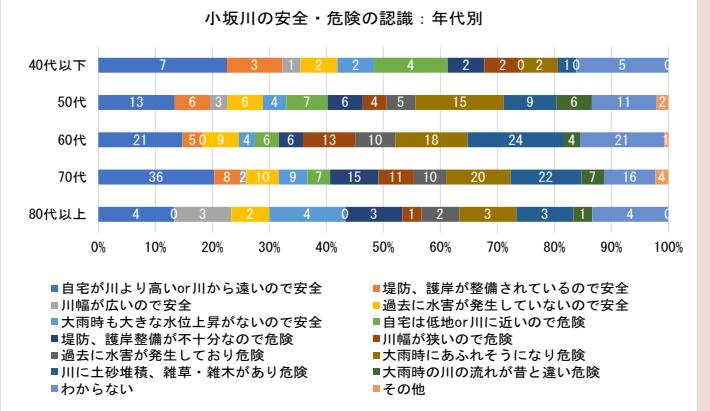
【問-7. 回答:水害経験別】



◆問-7. 小坂川は、洪水に対して安全、または危険だと感じていますか？

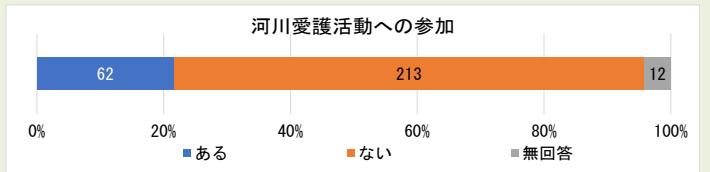


【問-7. 回答:年代別】



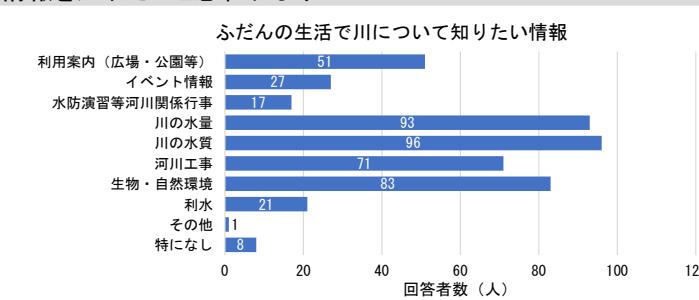
河川愛護活動に関する設問

◆問-8. 小坂川の草刈りやごみ拾いなどの河川愛護活動に参加したことがありますか？

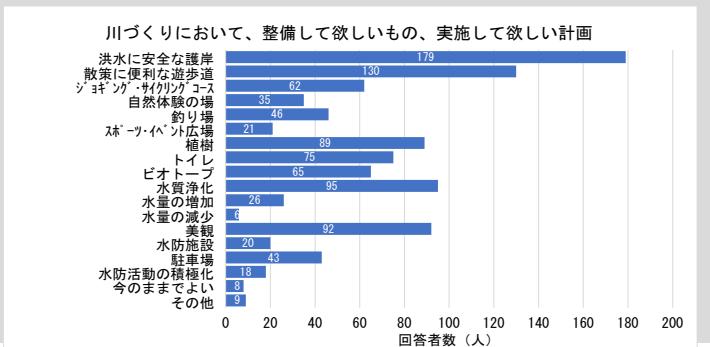


その他の設問

◆問-9. ふだんの生活で川についてどのような情報を知りたいと思われますか？



◆問-10. 今後、川づくりにおいて、整備してほしいもの、実施してほしい計画はどのようなものですか？



住民アンケートの結果

- 小坂川へは、2割以上の方が「週に1～2回以上」訪れると回答しているが、約3割の人が小坂川に行かないと回答している。
- 地域別の小坂川を訪れる回数を見ると、小坂地区において約5割の人が「毎日」訪れると回答しており、他の地域に比べて近隣住民が小坂川を訪れる頻度が高い。
- 川の利用の目的では、「散歩・ウォーキング・ジョギング」と回答する人が中下流域の広野や用宗、青木で多い。市街化の進む広野・用宗や、河道から距離が離れている青木では、地域の貴重な水辺として散歩などで小坂川が利用されている。

アンケート結果③

川の利用に関する設問

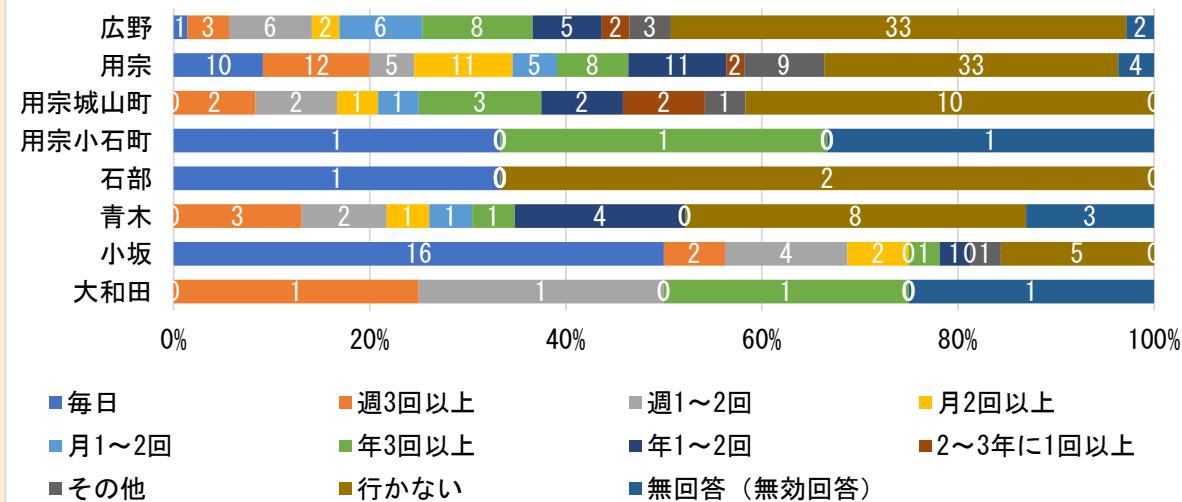
◆問-11. どれくらいの頻度で小坂川に行かれますか？

小坂川を訪れる回数



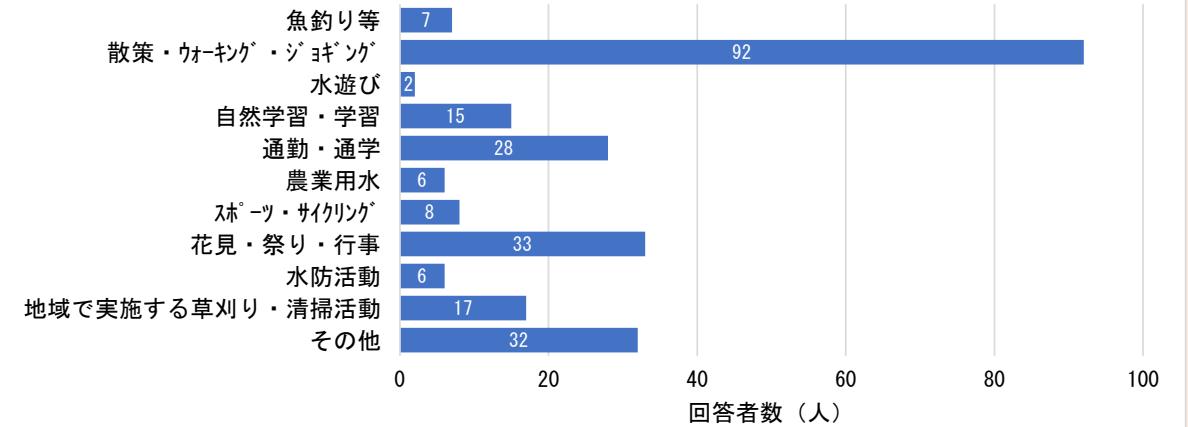
地域別

小坂川を訪れる回数：地域別



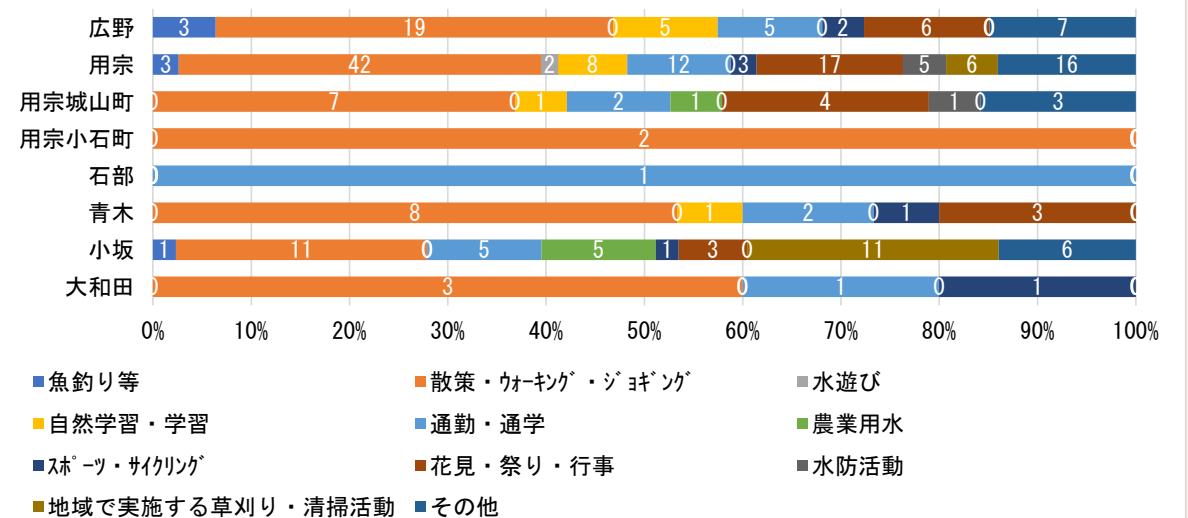
◆問-12. 何のために小坂川に行かれましたか？

小坂川を訪れる目的



地域別

小坂川を訪れる目的：地域別



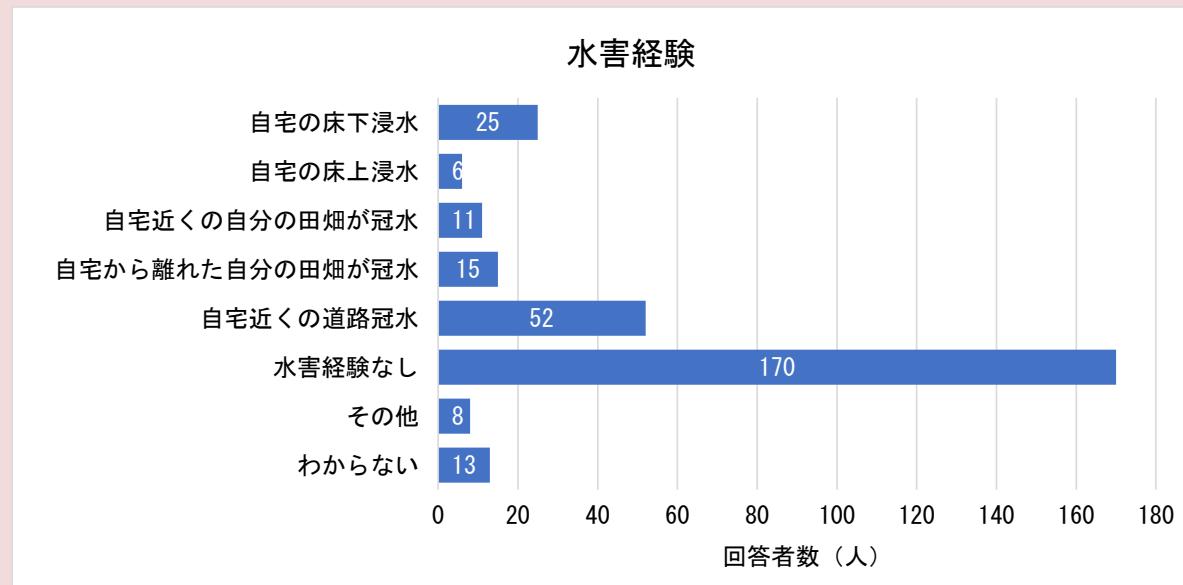
住民アンケートの結果

- 水害経験では、近年内水被害が報告されている小坂において約2割の人が「床下浸水」、1割弱の人が「床上浸水」を経験したと回答している。
- 農地の多い小坂、大和田、青木では「田畑の冠水」を経験したとの回答があった。また、市街化の進む用宗、広野では、半数以上が「水害経験なし」と回答している。
- 上流域の小坂、大和田では約8割以上の人が小坂川が洪水に対して危険と感じており、「大雨時あふれそうになる」、「川に土砂堆積、雑草や雑木がある」ことを懸念している。
- 下流域の水害経験の少ない広野、小坂、石部では、「大雨時大きな水位上昇が無い」、「堤防、護岸が整備されている」ことから、4割弱の人が洪水に対して安全と感じている。下流域は上流域に比べると安全と感じる人が多いものの、「川幅が狭い」等の理由から半数以上の人々が危険と感じている。

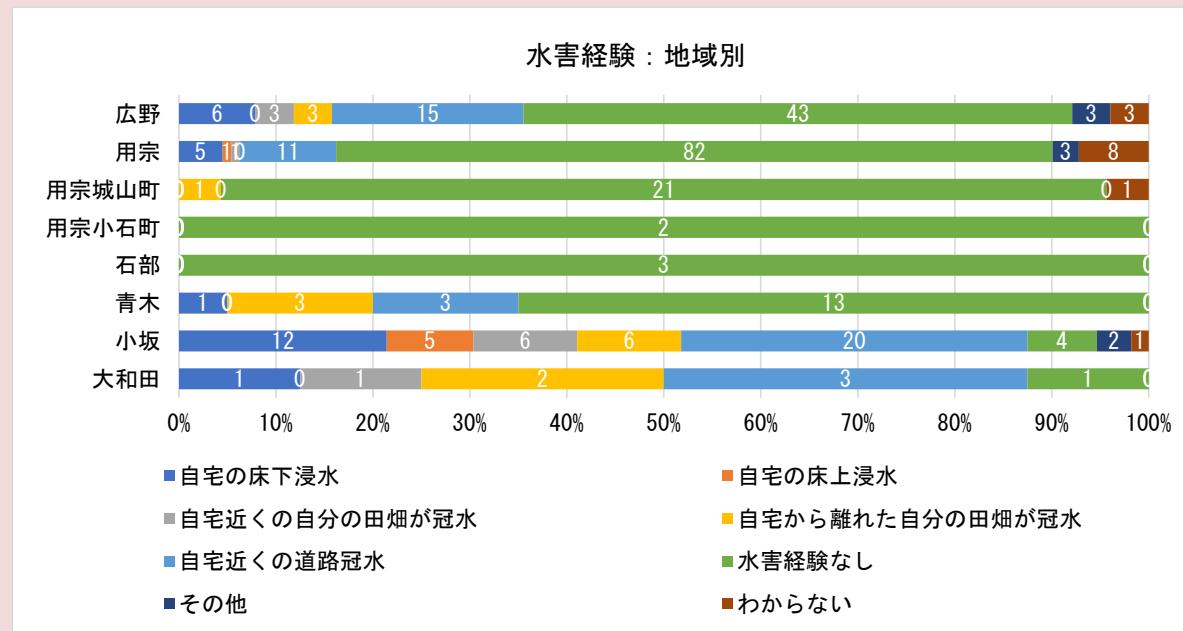
アンケート結果④

安全に関する設問

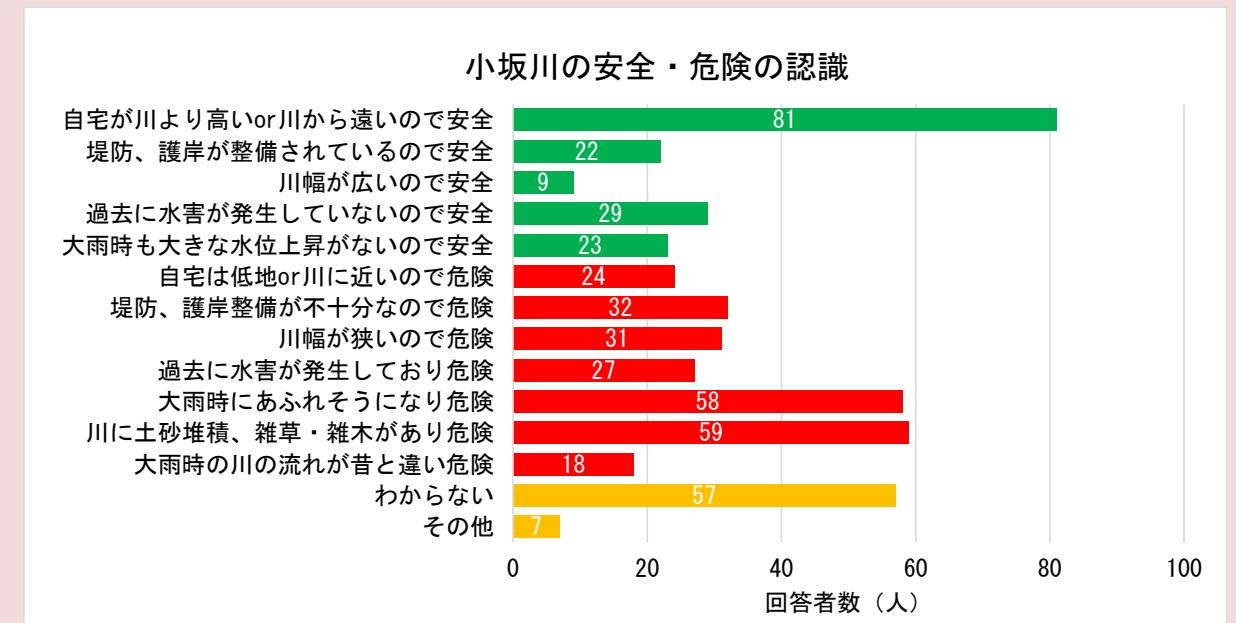
◆問-13. 現在のお住まいで、これまでに水害の被害にあわれた経験がありますか？



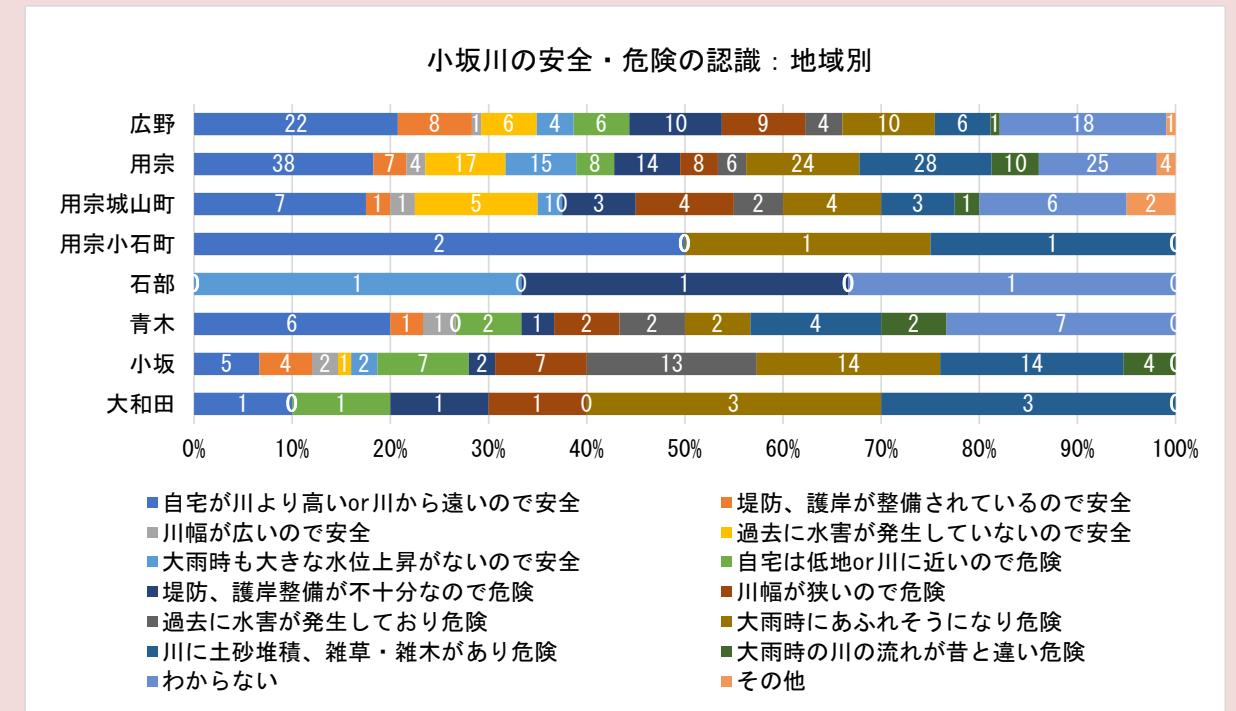
地域別



◆問-14. 現在、小坂川は、洪水に対して安全、または危険だと感じていますか？



地域別



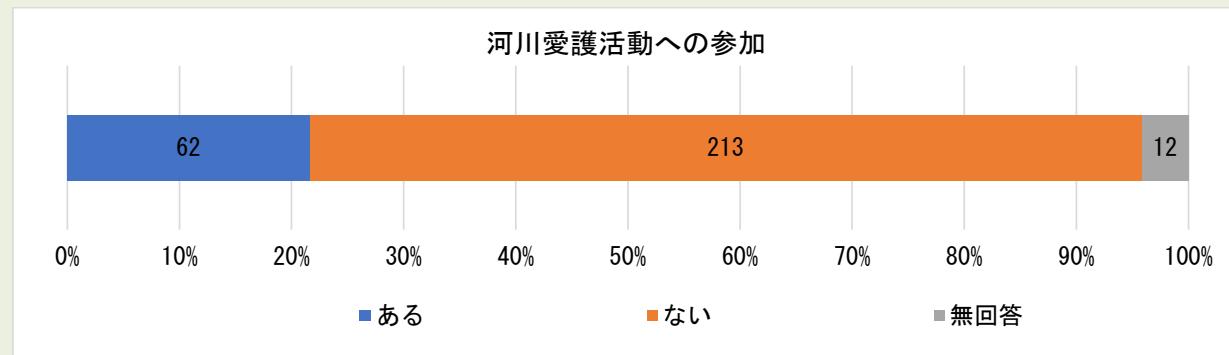
住民アンケートの結果

- 河川愛護活動については、上流域の小坂では約8割の人が「参加したことがある」と回答しており、他の地域に比べて参加者が多くなった。
- 下流域の広野、用宗では、約8割の人が河川愛護活動に「参加したことが無い」と回答しており、市街化が進む地域では参加者が少なくなった。
- 河川愛護活動参加への意向については、約4割弱の人が今後機会があれば「参加したい」と答えている。
- 地域別の回答では、上流部の小坂や大和田では7割以上の人が河川愛護活動に「参加したい」と回答しており、下流部の用宗や広野に比べて河川愛護活動への関心が高い。

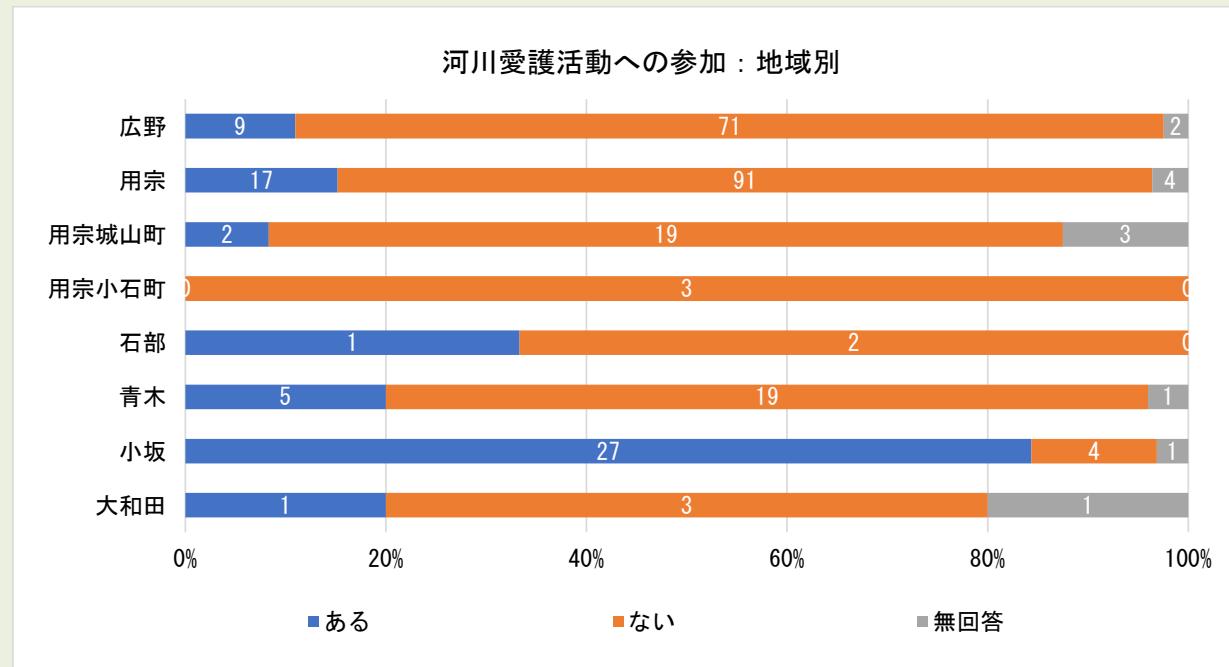
アンケート結果⑤

河川愛護活動に関する設問

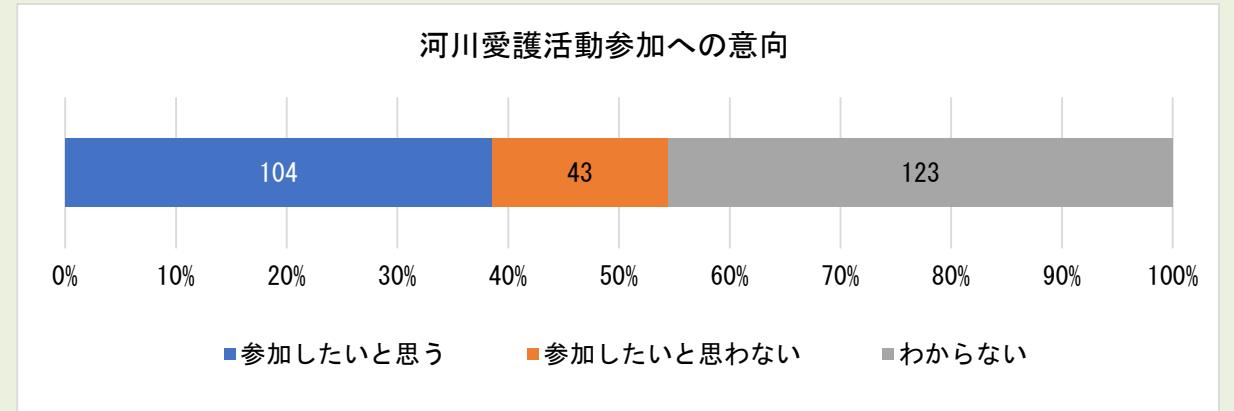
◆問15. 小坂川の草刈りやごみ拾いなどの河川愛護活動に参加したことがありますか？



地域別



◆問16. これから機会があれば愛護活動に参加しようと思いますか？



地域別

